



どう だ ん つ つ じ

満天星

第1号 令和3年4月9日



QRコード
智頭小学校ホーム
ページへアクセス

将来に向けて、子どもたちにつけたい力

校長 氏橋俊司

ぴかぴかの1年生が入学し、いよいよ令和3年度がスタートしました。額に汗を浮かべて久しぶりに校庭を走り回る子どもたちの姿。そして教室からは楽しそうなおしゃべりの声が聞こえてきます。校舎には新しい学年へのわくわくした活気が満ちあふれています。今なおコロナ禍にあり不自由な生活は変わりませんが、子どもたちがいて学校があり、私たち教師もいる。当たり前のように過ごせるこの学校生活を、あらためてありがたいことと痛感します。本年度も安全で安心、そして夢や希望のあふれる魅力多い学校をめざし、全職員が力を結集してがんばりますので、皆様どうぞよろしくお願いいたします。

さて、ご存じのように学校は、豊かな人間性を深め、学力を高め、結果として社会的な自立を図るべく日々取り組んでいます。昨年度は感染症対策のため、様々な制約下での行事開催となりましたが、子どもたちはそれぞれが努力し、経験を重ねました。また私たち教職員もどのようにしたら子どもたちの力を高められるのか、模索の毎日でした。うれしいことに本校の子どもたちは、純粋さと一生懸命さとをあわせもち、多くの行事を進んで成し遂げることができました。

そして、今年学校では、これらの行事においてただ言われるがまま行動するのではなく、子どもたち自身が自らの頭で考え、自らの手で解決し、達成感や成就感を得られるような場づくりをしていこうと相談しました。すぐに大人が手を貸すのではなく、「自分たちの力でやれた」「苦労したけれどやって良かった」という経験を大いに積みせようと話し合いました。(ただ危険なことは別です。)このことが自己有用感や自己肯定感を高め、社会的な自立へ一歩でも近づくこととなると考えます。先日、ちづ保育園の卒園式で「手をかけ過ぎず、眼と心はかけてください。」と保護者の皆さんにお話ししました。大人から見ればじれったいと感じることでも、やらせてみる。そのことで学ぶことは多くあり、底力となります。まさに「なすことによって学ぶ」というわけです。

学校では、最高学年の6年生のやる気がみなぎっていますし、その他の学年の子どもたちの笑顔も輝いています。今年統合後10年目を迎える本校では、将来にわたって必要な力を見通しながら各行事や教育活動を工夫・改善して参りますので、保護者や地域の皆様のご理解と変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

智頭小学校第10回入学式

智頭小学校の記念すべき第10回の入学式を挙行了しました。全校児童を代表して6年生が式に参加しました。2年生から5年生は、入学してきた1年生を各教室の大型モニターで見守りました。例年とは異なる形の入学式となりましたが、元気でかわいい1年生を迎えることができ、大変うれしく思います。



